

製本のススメ

Vol. 94

今年は29日が土曜日で、公共機関も金融機関も一斉に御用納めとなりますね。多くの会社も29日から休暇に入るようです。普段でも年末は忙しいのに、今回は拍車がかかります。みなさん、どうぞ事故の無いようにお過ごしください。

今回は^{かんじんかなめ}肝心要の話し

製品の最終工程が製本です。この知識が無いと面付けや、見開き頁のノド空きなど様々なことが決められませんね。綴じ方が変われば面付けも変わります、印刷と製本の間には互いに**加工ルールが決められているのです。**

ここ数年、この**加工ルールから大きく外れたものが頻繁に入荷されるようになってきました。**特に少部数物に多く、最終加工がスムーズに進まない事もしばしば起こります。印刷されてしまった物は仕方なく、何とか形にと努力しますが品質重視とは言えない場合も多く発生してしまいます。

また『前回通り』と発注を頂くことが有ります。しかし前回通りに印刷されていないものを、どうやって同じにできるでしょうか？加工所が変われば、加工方法や材料も変わり、似たような物しかできません。

さて印刷物が出来上がるまでの工程を大きく分けると、企画・製版・印刷・後加工です。工程の流れの中で、それぞれの**品質を保障するためのポイントは何処なのか**を企画段階でしっかりと掴んで下さい。**的確な発注や、効率も良く・後加工に負担の少ない面付け方法などは、この加工ルールに含まれています。**現在はデジタル化され経験値は不要のように見えますが、机上の計算値が万全と言えないのがモノづくりです。とりわけ**製本工程は顧客のニーズを形にし、満足を作る肝心要の工程です。**インクの乾きは十分か・面付けの位置や、左右の余白は十分か・特に注意して欲しい点を指示しているか等、しっかりとチェックして引き継ぎましょう。

専門性が薄れてきた現在 印刷業界はサービス業的な側面を持たざるを得ません。**いかに顧客が『お値段以上』と満足してもらえるか。**私達 製本会社は常に考えています。刷っただけでなく、的確な指示を出せるように、十分な知識を蓄えて下さい
不明な事、不安な事はぜひとも、事前に打ち合わせをしましょう。



Teabreak

一年間のご愛顧ありがとうございました。製本のススメもリニューアルしてから8年目を迎えます。毎月読んで下さる方々は、相当なベテランになられたことでしょう。ぜひその蓄積を後輩へも繋げてください。景気も回復とは程遠く懐具合も冬景色ですが、新年に希望をのせて また1年頑張りましょう！

by (株) 井関製本